

科目名 (科目番号)	実践臨床画像学演習 (時間割参照)	教員名	診療放射線学科 教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各教員シラバス参照	
授業概要	実践臨床画像学で学んだ知識・技能を活用した演習を行う。							
目的・目標	患者への対応および検査に関わる説明、チーム医療および他職種との連携、医療情報の取扱い、静脈路の確保と抜針および止血の手技、経動脈検査での滅菌操作とインジェクター接続、肛門へのカテーテル挿入からの造影剤および空気注入の手技に関する能力の実践的な手技を獲得する。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	1, オリエンテーション 4講義の講師から、実習を行うための基礎的な復習を行う。							
	2, 静脈穿刺とCT造影検査（諏訪） 実践臨床画像学の概要（静脈穿刺と造影CT検査での使用機材の説明） 標準予防策（手洗い確認・PPE装着） インジェクター接続に必要なテクニックの説明と実践 静脈穿刺・抜去の手技 汚染物等の処理 OSCE（造影CT検査の患者への対応、副作用の説明等）							
	3, 静脈穿刺と核医学検査（飯森） 実践臨床画像学の概要（静脈穿刺と核医学検査での使用機材の説明） 静脈穿刺の種類・接続、被ばく防護対策 核医学検査における機材の説明 静脈穿刺・抜去の手技・留置針の設定方法 廃棄物等の処理 OSCE（核医学検査の患者への対応、副作用の説明等）							
	4, 血管造影検査（諏訪） 実践臨床画像学の概要（血管・滅菌操作での使用機材の説明） 滅菌操作（ガウンテクニック・滅菌手袋・滅菌シート） 動脈検査におけるインジェクター接続での機材の説明 経動脈検査でのカテーテルへの接続方法 汚染物等の処理 OSCE（血管造影検査の患者への対応、副作用の説明等）							
	5, 上・下部消化管検査におけるカテーテル操作（岡田） 実践臨床画像学の概要（上・下部消化管検査での使用機材の説明） 上・下部消化管検査の種類と必要性 鼻腔カテーテルからの造影剤注入手技・抜去 肛門カテーテルの準備・挿入・固定・エアー抜き・抜去 廃棄物等の処理 OSCE（下部消化管検査の患者への対応、副作用の説明等）							
成績評価の方法・基準	期末テスト							
教科書	資料を毎回配布する							
参考図書								
教員からのメッセージ	実習は小グループで行うので、積極的に行使に質問してください。各グループで、実習日が異なるので十分注意して下さい。病院での勤務した診療放射線技師がこの授業を担当します。							